

青年部

12月全体会議

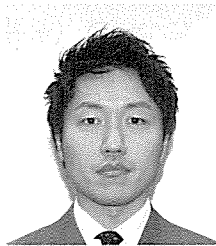
- ・日 時：令和3年12月10日（金）午後3時
- ・参加者：42名
（リモート参加：青年部関係33名、女性部9名）

青年部（金田琳会長）の12月全体会議は、教育情報委員会（担当副会長 砂月和貴氏、委員長 東久保翔平氏）による『SDGs』をテーマとしたオンラインセミナーを開催しました。

これまで本テーマに関する講演は数多く開催されており、現在マスメディアからも『SDGs』というワードが盛んに発信され、社会全体に浸透しつつあります。

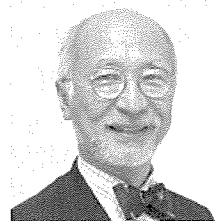
今会議では産業廃棄物処理業の経営において目標となるゴールへの具体的な取り組み事例について、専門家をお迎えしてオンラインセミナーを開催。

開催の挨拶で金田会長は「本日はお忙しい中、12月全体会議のオンラインセミナーにご参加いただきありがとうございます。今回の参加者は青年部の皆様、関係者の方々、女性部からのご参加等、SDGsに携わっている方々にお集まりいただきました。本日の講演が会員各社様の取り組みにおいて道標となりますようお願いしております。」と述べました。



開会挨拶をする
金田会長

第一部は、「SDGsで世の中はどう変化していくのか～廃棄物・資源循環における未来～」と題して、中部大学副学長経営情報学部長 細田衛士氏を講師としてお招きしました。



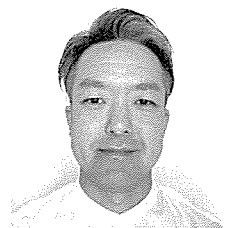
講演をされた
中部大学細田副学長

講演内容は、1.はじめに 2. SDGsとビジネス；グリーンキャピタリズムの新发展 3. 廃棄物処理ビジネスから資源循環ビジネスへ 4. ライフスタイルの変化と新しいトレンド 5. おわりに、について話されました。

始めにSDGsの成り立ちとビジネスとの関わりについて「三方良し」を例に挙げて説かれました。資源

循環ビジネスは自ずと私益と公益が調和するビジネスであり、天然資源と最終処分場がピークアウトしている現在、循環経済の構築が不可欠です。SDGsのトレンドはまさに今こそ資源の高度な循環利用の重要性を表し、新しい付加価値が創出されることとであり、Tomorrow is another day：昨日と同じ明日はない。柔軟な発想と俯瞰力を持って新しいビジネスチャンスを掴み取り、新しい技術に食いついていくことが重要だ、と締めました。

第二部は、「SDGs×加山興業 企業活動におけるSDGsの取り組み」と題して、加山興業（株）経営企画室室長 田島真一氏を講師としてお招きしました。



講演をされた
加山興業（株）田島室長

講演内容は、1. 加山興業（株）の基本情報 2. SDGsの世界観と企業が取り組む意義 3. SDGsを考慮した事前戦略の全体像 4. 加山興業（株）の事例 5. 本日持って帰ってほしいこと、について話されました。

田島氏は講義の中で、同社が認証を受けたSBTイニシアチブ『1.5℃目標』認定取得について、経緯とどのようにCO₂排出削減を同社でおこなっているのか、また、実際にSBTの認証取得がビジネスにつながった好事例について説明がありました。さらにSDGsカードゲームを環境教育のツールとして、地域の教育機関へ出向き出前授業を行う等、社会貢献に注力していると述べ、最後に外部からの要請（社会課題）に真摯に向き合うことで、ビジネスチャンス、企業価値向上、生存戦略にもつながると、締めました。質疑応答後、全体会議は終了しました。

